



第 5 5 期 事 業 報 告 書

2 0 0 2 年 4 月 1 日 ~ 2 0 0 3 年 3 月 3 1 日



東洋水産株式会社

証券コード 2875



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃よりご支援
とご厚情を賜り心より感謝申し上げます。

さて、当社は第55期の決算を終えましたの
で、以下に営業の概況をご報告申し上げます。

前期に増して厳しい経営環境の中、当社グルー
プは品質管理の徹底とコスト削減に努め、同時に
積極的な営業活動を推進してまいりました。

今後も目標の達成ならびにさらなる発展を目
指して、グループ丸となって取り組んでまいり
ます。株主の皆様におかれましては、引き続きご
支援を賜りますようお願い申し上げます。

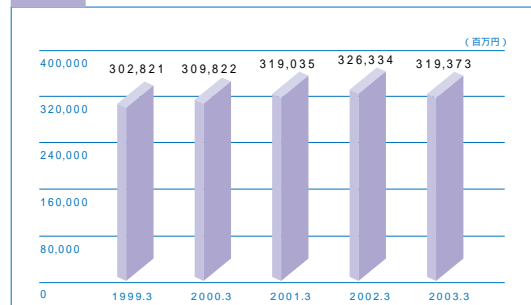
2003年6月

代表取締役社長

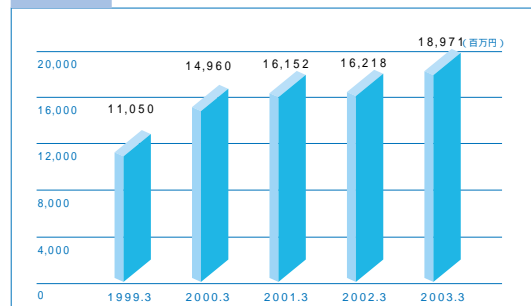
堤 殷



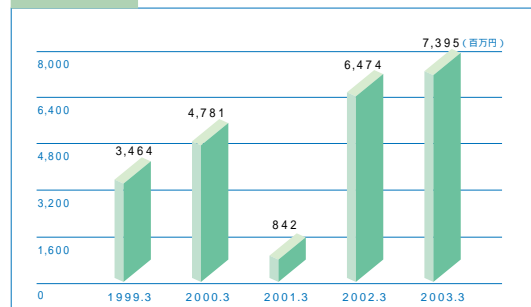
売上高



経常利益



当期純利益



連結財務ハイライト

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3
売上高（百万円）	302,821	309,822	319,035	326,334	319,373
営業利益（百万円）	12,142	15,991	16,296	16,498	19,395
経常利益（百万円）	11,050	14,960	16,152	16,218	18,971
当期純利益（百万円）	3,464	4,781	842	6,474	7,395
総資産（百万円）	222,202	230,763	249,431	222,712	224,791
株主資本（百万円）	93,476	96,238	91,897	97,620	104,509
資本金（百万円）	18,969	18,969	18,969	18,969	18,969
1株当たり株主資本（円）	841.91	876.21	885.22	938.64	956.37
1株当たり当期純利益（円）	30.73	43.53	8.11	62.27	66.33

第55期営業の概況（連結）

当期の事業環境は、国内につきましては、デフレ長期化、株価下落、雇用環境悪化等に加え、イラク情勢の緊迫化に伴う世界的景況感悪化のため、一段と混迷いたしました。また、海外については、世界的株安と米国経済減速の影響が大きく、総じて低迷いたしました。

当食品業界におきましては、個人消費の低迷、商品単価の下落が続き、販売競争が一層激化し、経営環境は一段と厳しくなっております。また、お客様の商品に対する安全意識が高まり、企業としての社会的責任が改めて問われております。

こうした環境の中、当社グループは、商品の安全性を高めるため品質管理の徹底を図り、従業員の品質管理意識を再確認するとともに、コスト削減と積極的な営業活動を推進しました。

魚介類部門、国内加工食品部門等の主力部門は、消費低迷の影響下において健闘し、ほぼ横ばいとなりました。しかしながら、海外売上高は、米国における会計に関する通達（EITF 01-9）により売上高から販売促進費を控除する会計処理方法に変更になったため、従来の方と比べて、63億99百万円減少となりました（同会計基準変更は、利益には影響ありません）。

これらの結果、当期の売上高は、3,193億73百万円（前期比2.1%減）となりましたが、経常利益は、販管費圧縮等により189億71百万円（同17.0%増）の増益となりました。また、特別損失として、投資有価証券評価損38億25百万円等、合計46億22百万円を計上した結果、当期純利益は、73億95百万円となりましたが、前期に比べて14.2%の増益となりました。



経営戦略

創立50周年を将来に向けたグループ飛躍の年と位置づけ、中期経営戦略をさらに積極的に推進してまいります。

経営基本方針

当社は、『顧客第一主義』のもと、「お客様により良い商品、サービスを提供することにより社会に貢献する」ことをグループ全体の経営理念としております。

この理念のもと、当社グループの事業は、水産事業にはじまり、即席麺、生麺、冷凍食品等へと拡がり、現在、総合食品メーカーとしての幅広い展開を行っております。また事業は、国内に加え、米国(1972年から)、中国(1988年から)へと拡大し、グローバル化が着実に進んでおります。

当社グループは、「安全でおいしい商品」「確実なサービス」をお客様にお届けすることにより、さらなる発展を目指しております。

中期経営戦略

昨今の事業環境は、不況の中でのデフレ進行、消費者の商品選別の多様化、低価格競争の激化、食品に対する安全性ニーズの高まり等、極めて難しい局面を迎えております。当社グループでは、これに対応し、

将来の収益確保

経営効率の向上

コーポレートガバナンスの強化

の3つを基本戦略として、中期的な取り組みを行っております。

本年3月、当社は創立50周年を迎えました。この節目の年を、将来に向けたグループ飛躍の年と位置づけ、中期経営戦略への取り組みをさらに積極化してまいります。

以下の取り組みを推進し、当社グループは、中期目標として2005年3月期連結経常利益200億円の達成を目指し、企業価値、すなわち株主価値の最大化を図ってまいります。

当社グループの中長期戦略

将来の収益確保

商品競争力の確保

販売の確保

経営効率の向上

コストダウンの推進

財務体質の強化

経営判断の迅速化、効率化

コーポレートガバナンスの強化

企業倫理の確立

将来の収益確保を目指し、機軸商品への重点施策ときめ細かな営業活動を展開してまいります。

現在の事業環境といたしましては、スピード、クオリティ、サービスの全てを向上させていくことがメーカーに求められています。これらのコストアップ要因がありながらも、販売価格は低下傾向にあります。

当社といたしましては、将来の収益確保のために、「商品競争力の確保」と「販売の確保」を目指した取り組みを行ってまいります。

販売面では、得意分野の「赤いきつね」「緑のたぬき」を中心とする和風麺、「昔ながらの中華そば」「麺づくり」等のノンフライ麺、「3食焼そば」などの基軸商品に重心を置いて、販売促進活動を積極的に展開してまいります。一方、当社ブランドを消費者に訴え続けるためには、店頭での棚の確保が常に重要なテーマとなります。そのため当社は、「ご当地ラーメン」などの話題商品の開発・販促展開についても、積極的に取り組む方針です。

営業的には、チャネル別、得意先別の要望にお応えできる「One to One」のきめ細かな営業体制を追求し、さらなるサービスアップを目指します。

商品開発では、健康志向、家事省力化ニーズ等の現代的な消費者ニーズに対応してまいります。

消費者ニーズにマッチした新商品開発が競争力強化の重要なポイントとなりますが、今後の消費者ニーズとしては、「健康志向」「時短」などが強まっていくものと思われます。

健康志向に対しては、たとえば、低カロリー化、麺そのものの栄養分の強化などの工夫を行ってまいります。また、時短ニーズに対しては、家事労働のための時間をますます持ちにくくなる現代人のために、米飯類の商品開発に力を

入れ、ラインナップを豊富に取り揃えていく方針です。

経営効率の向上を目指し、生産拠点の統廃合、物流のさらなる合理化等に着手してまいります。

経営効率向上のために、主に、「コストダウンの推進」、「財務体質の強化」、「経営判断の迅速化、効率化」の3つに取り組んでまいります。

この中で特に、コストダウンは、生産拠点の統廃合、再配置、物流の合理化などを進めてまいります。当期におきましては、北海道の生産・物流体制の再編成を目的に、釧路市の釧路東洋(株)を閉鎖し、代わって、物流拠点が集中する札幌市近郊(小樽市)に石狩東洋(株)を設立し、本年2月より生産を開始いたしました。これにより、素材の鮮度向上、物流の効率化・スピードアップを図れるものと考えております。

消費者が安心して購入できるよう、より安全な食品を提供できるシステムを構築してまいります。

食品の安全性向上への取り組みは、食品に対する消費者の不信を取り除き、安心して購入していただける環境づくりを行っていくために、また、企業倫理を確立する上でも、非常に重要なことであると認識しております。当社は、最新のIT(情報技術)を駆使した「製品情報管理システム」による原材料の管理、遺伝子組み換えやアレルギー問題等に対するチェック体制などを既に整備・確立しております。今後は、これをさらに発展させ、「トレーサビリティ・システム*」の構築に向けた取り組みを強化していく方針です。

*「トレーサビリティ・システム」：直訳すれば、足跡を追うことができるシステム。製造される食品に使用されている全ての原材料(調味料を含む)の産地、生産方法、成分などの詳細な情報を全て追跡調査し、安全性を確保するためのシステム。



セグメント情報

事業セグメント別売上高

加工食品部門

同部門の主要事業である国内即席麺事業は、袋麺の「昔ながらの中華そば」「屋台十八番」が好調に推移し、また、カップ麺の「赤いきつね」「緑のためき」「白いちからもち」等既存商品に加え、「紺のきつねそば」等新製品発売により和風シリーズが好調でした。また、ノンフライ麺の「麺づくり」も引き続き大幅増となりました。

生麺事業では、「3食焼そば」「冷しラーメン」等が堅調に推移しましたが、「2食焼そば」「2食焼うどん」が減少しました。

冷凍食品事業では、冷凍麺、冷凍食材ともに業務用が順調に推移しましたが、具材に中国野菜を使用している市販用冷凍麺が中国野菜残留農薬問題等で大幅に減少したため、全体としては微増にとどまりました。

また、海外売上高は、米国の即席麺事業が引き続き好調を維持していますが、米国の会計に関する通達（EITF 01-9）により、当期より会計の方法が変更となった結果、従来に比べ63億99百万円減少となりました。

これらの結果、同部門の売上高は、2,311億43百万円（前期比2.6%減）となりました。

魚介類部門

同部門では、商品選別の強化と加工品への重点志向による商品シェアアップを目指しましたが、全般的なデフレ経済による消費低迷の影響もあり、売上高は639億83百万円（前期比0.1%減）となりました。

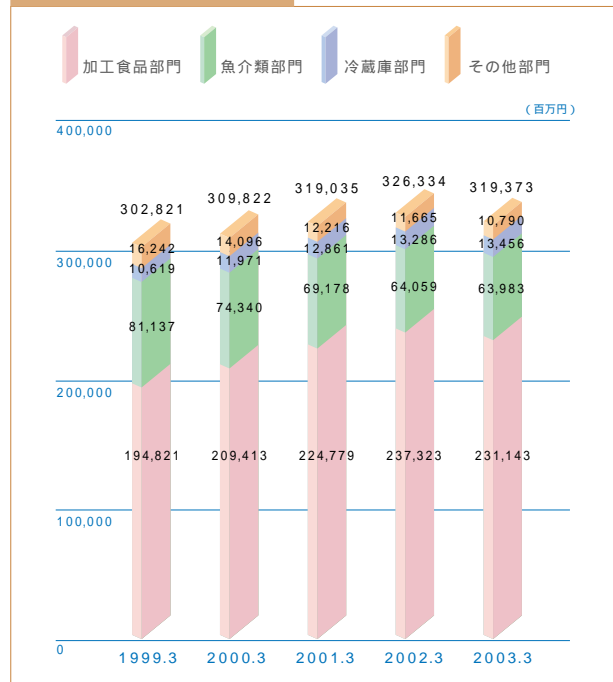
冷蔵庫部門

同部門では、顧客の在庫圧縮の動きが依然として大きなものとなっていますが、石狩第2冷蔵庫の稼働が年間寄与したこと、首都圏の売上高が好調だったこと等により、売上高は134億56百万円（前期比1.3%増）となりました。

その他部門

同部門は、化粧品製造販売、不動産賃貸等が主です。そのうち不動産賃貸は、通常ほとんど変動しませんが、当期は、当社グループの合理化策により、（株）酒悦房総工場の賃貸契約が一部終了しました。その結果、同部門の売上高は107億90百万円（前期比7.5%減）となりました。

事業セグメント別売上高





グループ会社一覧

所在地セグメント別売上高

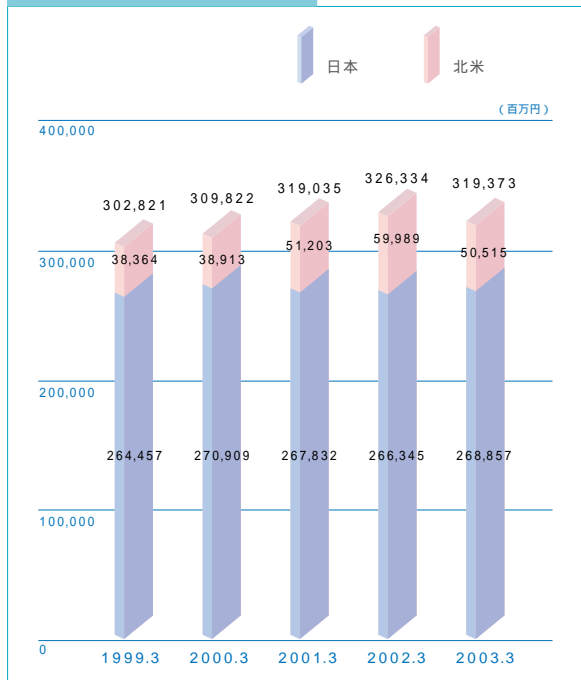
日本

国内マーケットにおいては、即席麺事業を中心とした加工食品部門が堅調に推移したこと等により、2,688億57百万円（前期比0.9%増）となりました。

北米

北米マーケットにおいては、米国を中心に引き続き即席麺事業が好調を維持しました。しかし、米国子会社の販売促進費に関する会計基準の変更及び為替換算の影響（前期133円25銭、当期120円20銭）から、売上高は505億15百万円（前期比15.8%減）となりました。

所在地セグメント別売上高



連結子会社

八戸東洋株式会社
 甲府東洋株式会社
 フクシマフーズ株式会社
 東洋冷凍株式会社
 サンリク東洋株式会社
 株式会社酒悦
 新東物産株式会社
 ロゼット株式会社
 東部貿易株式会社
 築地東洋株式会社
 三協フード工業株式会社
 伊万里東洋株式会社
 株式会社フレッシュダイナー
 株式会社東京商社
 銚子東洋株式会社
 ユタカフーズ株式会社
 田子製氷株式会社
 マルチャン, INC.
 マルチャンバージニア, INC.
 バックマル, INC.
 シーフリーズL.P.

非連結子会社他

ヤイズ新東株式会社
 三幸養魚株式会社
 埼玉東洋株式会社
 ニチケン株式会社
 扇島食品株式会社
 湘南東洋株式会社
 舞洲東洋株式会社
 ベット開発株式会社
 株式会社スズキデイリー
 ミツワデイリー株式会社
 石狩東洋株式会社
 東和エステート株式会社
 スルガ東洋株式会社
 下田東水株式会社
 株式会社東和保険事務所
 海南東洋水産有限公司
 台湾東幸食品股份有限公司
 湛江東洋水産有限公司
 台湾三東股份有限公司
 青島味豊調味食品有限公司
 株式会社いらご研究所
 天津三協食品有限公司



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当期末 (2003.3.31)	前期末 (2002.3.31)	増減額
(資産の部)			
流動資産	97,163	91,755	5,408
現金及び預金	24,275	20,679	
受取手形及び売掛金	41,669	44,763	
有価証券	46		
たな卸資産	23,643	21,291	
繰延税金資産	2,013	1,596	
その他	5,869	3,869	
貸倒引当金	353	446	
固定資産	127,627	130,922	3,294
有形固定資産	103,581	103,588	
建物及び構築物	45,138	42,628	
機械装置及び運搬具	21,677	22,804	
土地	35,065	33,910	
建設仮勘定	550	3,087	
その他	1,149	1,156	
無形固定資産	1,549	1,776	
ソフトウェア	999	1,260	
連結調整勘定	114	74	
その他	435	440	
投資その他の資産	22,496	25,557	
投資有価証券	13,553	16,521	
長期貸付金	331	337	
繰延税金資産	7,268	7,132	
その他	1,343	1,566	
貸倒引当金	0	1	
繰延資産		35	35
社債発行費		35	
資産合計	224,791	222,712	2,078

	当期末 (2003.3.31)	前期末 (2002.3.31)	増減額
(負債の部)			
流動負債	55,419	56,560	1,140
支払手形及び買掛金	19,613	18,920	
短期借入金	12,818	15,667	
未払法人税等	3,590	2,548	
未払事業所税	57	56	
未払消費税等	546	99	
未払費用	16,939	16,825	
返品調整引当金	6	5	
その他	1,849	2,437	
固定負債	57,596	58,844	1,247
社債	30,000	30,000	
長期借入金	1,480	2,865	
繰延税金負債	2,218	2,120	
退職給付引当金	21,045	20,921	
役員退職慰労引当金	1,074	1,111	
債務保証損失引当金	1,563	1,554	
その他	215	270	
負債合計	113,016	115,405	2,388
(少数株主持分)	7,265	9,686	2,420
(資本の部)			
資本金	18,969	18,969	
資本剰余金	20,155	20,155	
利益剰余金	68,353	62,267	6,085
為替換算調整勘定	1,020	1,599	2,620
その他有価証券評価差額金	855	1,414	558
自己株式	1,093	15	1,077
連結子会社の所有する親会社株式		3,942	3,942
資本合計	104,509	97,620	6,888
負債、少数株主持分及び資本合計	224,791	222,712	2,078

連結損益計算書

(単位:百万円)

	当期 (2002.4.1- 2003.3.31)	前期 (2001.4.1- 2002.3.31)	増減額
売上高	319,373	326,334	6,961
売上原価	212,850	216,057	3,206
売上総利益	106,522	110,277	3,755
販売費及び一般管理費	87,127	93,779	6,651
営業利益	19,395	16,498	2,896
営業外収益	1,382	1,843	460
受取利息	119	227	
受取配当金	186	197	
賃貸収入	405	399	
為替差益		311	
雑収入	671	707	
営業外費用	1,806	2,122	316
支払利息	795	1,106	
賃貸原価	247	282	
為替差損	56		
雑損失	706	733	
経常利益	18,971	16,218	2,752
特別利益	343	1,712	1,369
固定資産売却益	62	162	
投資有価証券売却益		542	
貸倒引当金戻入額	82	1,006	
役員退職慰労引当金戻入	80		
企業立地促進事業補助金	117		
その他		1	
特別損失	4,622	5,899	1,276
固定資産売却却損	566	529	
投資有価証券売却損	30	289	
投資有価証券評価損	3,825	2,268	
過年度役員退職慰労引当金繰入額		239	
債務保証損失引当金繰入額	9	1,554	
工場閉鎖費用	119	779	
関係会社清算損		188	
その他	72	50	
税金等調整前当期純利益	14,692	12,032	2,660
法人税、住民税及び事業税	7,591	6,501	
法人税等調整額	962	1,699	
少数株主利益	667	756	
当期純利益	7,395	6,474	921

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当期 (2002.4.1- 2003.3.31)	前期 (2001.4.1- 2002.3.31)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,859	16,963	4,896
(うち、減価償却費)	(8,547)	(8,528)	
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,759	9,731	4,028
(うち、有形固定資産の取得による支出)	(12,030)	(12,599)	
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,490	34,858	29,367
(うち、社債の償還による支出)	()	(30,000)	
現金及び現金同等物に係る換算差額	287	221	
現金及び現金同等物の増減額	2,321	27,404	29,726
現金及び現金同等物の期首残高	19,264	46,669	
現金及び現金同等物の期末残高	21,586	19,264	2,321

連結剰余金計算書

(単位:百万円)

	当期 (2002.4.1- 2003.3.31)	前期 (2001.4.1- 2002.3.31)	増減額
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	20,155	20,155	
資本剰余金期末残高	20,155	20,155	
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	62,267	57,156	5,111
利益剰余金増加高	7,395	6,474	921
当期純利益	7,395	6,474	
利益剰余金減少高	1,310	1,362	51
配当金	1,248	1,245	
取締役賞与	55	13	
監査役賞与	6	0	
自己株式等の売却に伴う剰余金減少高		102	
利益剰余金期末残高	68,353	62,267	6,085



単体財務諸表

単体貸借対照表

(単位:百万円)

	当期末 (2003.3.31)	前期末 (2002.3.31)	増減額
(資産の部)			
流動資産	71,613	66,201	5,411
現金及び預金	15,335	13,062	
受取手形	35	39	
売掛金	32,646	34,098	
有価証券	46		
製品・商品	9,377	8,408	
原材料	688	541	
仕掛品	11	12	
前渡金	429	553	
繰延税金資産	2,304	1,827	
短期貸付金	8,904	6,159	
未収入金	4,419	3,725	
未収消費税等		76	
その他	58	121	
貸倒引当金	2,645	2,424	
固定資産	98,344	102,109	3,764
有形固定資産	63,161	63,525	
建物	27,184	26,921	
構築物	1,077	1,109	
機械及び装置	7,381	8,473	
車両及び運搬具	107	131	
工具器具備品	866	852	
土地	26,260	25,123	
建設仮勘定	283	912	
無形固定資産	1,178	1,465	
借地権	176	176	
商標権	7	9	
ソフトウェア	940	1,223	
その他	53	55	
投資その他の資産	34,004	37,119	
投資有価証券	9,671	12,526	
関係会社株式	18,703	19,008	
出資金	56	58	
長期貸付金	157	238	
従業員に対する長期貸付金	78	60	
長期前払費用	117	92	
繰延税金資産	4,357	4,147	
差入保証金	221	269	
その他	639	717	
貸倒引当金	0	0	
繰延資産		35	35
社債発行費		35	
資産合計	169,958	168,347	1,611

	当期末 (2003.3.31)	前期末 (2002.3.31)	増減額
(負債の部)			
流動負債	40,977	39,073	1,904
支払手形		90	
買掛金	18,777	19,159	
短期借入金	4,655	4,000	
一年以内に返済予定の長期借入金	1,659	884	
未払金	874	1,874	
未払法人税等	2,217	1,504	
未払事業所税	46	46	
未払消費税等	476		
未払費用	12,074	11,245	
預り金	80	156	
前受収益	114	112	
固定負債	46,410	48,026	1,616
社債	30,000	30,000	
長期借入金	428	2,087	
退職給付引当金	13,356	13,225	
役員退職慰労引当金	915	973	
債務保証損失引当金	1,563	1,554	
預り保証金	147	186	
負債合計	87,387	87,099	288
(資本の部)			
資本金	18,969	18,969	
資本剰余金	20,155	20,155	
資本準備金	20,155	20,155	
利益剰余金	44,424	43,597	827
利益準備金	2,593	2,593	
任意積立金	37,742	35,799	
当期末処分利益	4,089	5,205	
その他有価証券評価差額金	882	1,459	577
自己株式	96	15	81
資本合計	82,570	81,247	1,323
負債・資本合計	169,958	168,347	1,611



株主還元

単体損益計算書

(単位:百万円)

	当期 (2002.4.1 - 2003.3.31)	前期 (2001.4.1 - 2002.3.31)	増減額
売上高	217,691	211,352	6,338
売上原価	138,297	136,429	1,868
売上総利益	79,393	74,923	4,470
販売費及び一般管理費	71,580	69,140	2,440
営業利益	7,812	5,782	2,029
営業外収益	2,352	2,450	98
受取利息	57	170	
受取配当金	706	701	
賃貸収入	404	402	
ノウハウ料	809	790	
雑収入	375	384	
営業外費用	1,361	1,578	217
支払利息	132	164	
社債利息	493	690	
賃貸原価	212	251	
雑損失	522	471	
経常利益	8,803	6,654	2,149
特別利益	273	1,185	912
固定資産売却益	44	70	
投資有価証券売却益		175	
貸倒引当金戻入額		495	
債務保証損失引当金戻入額		444	
役員退職慰労引当金戻入	111		
企業立地促進事業補助金収入	117		
特別損失	4,732	5,505	772
固定資産売却損	257	257	
投資有価証券売却損	23	227	
投資有価証券評価損	3,728	1,030	
関係会社株式評価損	39	1,185	
過年度役員退職慰労引当金繰入額		239	
債務保証損失引当金繰入額	9	1,554	
工場閉鎖費用		779	
関係会社清算損		188	
子会社整理損	614		
その他	60	44	
税引前当期純利益	4,344	2,334	2,009
法人税、住民税及び事業税	3,283	2,337	
法人税等調整額	1,140	1,390	
当期純利益	2,202	1,388	814
前期繰越利益	1,886	3,817	
当期末処分利益	4,089	5,205	1,116

利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様に対し、期間業績を加味しながら、利益を安定的に還元することを基本方針としております。

内部留保に関しては、企業体質の強化、開発投資等に活用してまいります。

当期の配当金

当社は、本年3月25日に創立50周年を迎えました。これも株主の皆様をはじめとした関係各位のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

当期の配当金は、株主の皆様の日頃のご支援にお応えし、1株につき、12円の普通配当に加え、5円の記念配当を実施させていただきました。

利益処分

(単位:百万円)

	当期 (2003年3月期)	前期 (2002年3月期)	増減額
当期末処分利益	4,089	5,205	1,116
固定資産圧縮積立金取崩額	50	56	5
計	4,140	5,262	1,121
これを次のとおり処分します。			
株主配当金	1,883 (1株につき17円) 内訳 普通配当12円 記念配当 5円	1,330 (1株につき12円)	553
取締役賞与金	87	40	47
監査役賞与金	5	5	0
固定資産圧縮積立金	108		108
別途積立金		2,000	2,000
次期繰越利益	2,054	1,886	168



トピックス

創立50周年記念式典を開催（2003年3月25日）

当社は、本年3月25日に創立50周年を迎えました。これを記念する式典を同日、東京・港区のホテルオークラで開催。多数の来賓をお迎えいたしました。

同式典では、当社の歴史を描いた企業小説「燃ゆるとき」「ザ エクセレント カンパニー」等の作家・高杉良氏が、米国で日本のラーメンを根付かせた東洋水産の経営のエクセレント性を取り上げるなど、来賓の皆様からの祝辞をいただきました。

当社は今後、ここまで来られたのは関係各位の皆様のご支援の賜物であることを忘れることなく、これからも期待にお応えし、がんばり続けてまいります。



北海道小樽の新工場が生産開始（2003年2月14日）

当社子会社である石狩東洋（株）が運営する新工場が完成し、本年2月14日より生産を開始いたしました。その一方で、釧路東洋（株）を閉鎖いたしました。当社グループでは、現在、生産・物流の再編成を進めており、これはその一環となります。

生産品目は、生麺、魚肉ハム・ソーセージで、生麺の生産能力を従来に比べ1.5倍に引き上げました。建設場所は、北海道全域に向けた物流拠点が集まる札幌市の近隣である小樽市 石狩湾新港地区 / 札幌市街地から約15km で、製品の安定供給と物流の効率化・スピードアップを狙っております。また、生産地と供給地の隣接により、よりの確な商品開発、より綿密な生産・販売計画へと改善を図っております。これらの取り組みにより、北海道地区で生麺をはじめとした当社商品の販売シェアをさらに向上させていきたいと考えております。





主力商品情報

チルド麺

当社の「チルド麺」は、年間約410億円の売上を誇り、売上・シェアともに全国第一位の地位を築いております。

中でも「焼そば3人前」は、1975年の発売以来、のびにくく弾力のある麺となじみの良い粉末ソースが支持され続け、チルド麺の中で日本一の売上を誇っています。

また、なめらかさと弾力を保ちつつ15日間の保存可能な「玉うどん3人前」、お鍋ひとつの簡単調理と60日の賞味期間を実現した「昔ながらの中華そば」シリーズ、等がお客様の長い支持を頂き、当社の主力商品に育っております。

玉露を贅沢に使用した彩りも美しい「玉露茶そば2人前」は、本年3月にリニューアルし好調に推移しています。

焼そば3人前



昔ながらの中華そば しょうゆ味



玉うどん3人前



玉露茶そば2人前



えびシュウマイ



チルド食品

当社の「チルド食品」は、年間約68億円を売上げております。

中でも、「えびシュウマイ」に代表される、チルドシュウマイは、全国的に展開しており、当社の主力品に育っています。

株主優待制度

自社製品の詰め合せを進呈。

当社では、株主の皆様への還元策の一環といたしまして、ご所有の株式数に応じて自社製品の詰め合せを進呈する株主優待制度を導入しております。

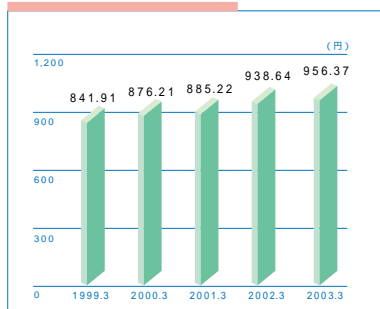
今年につきましては7月に、3月末日現在1,000株以上ご所有の株主様に対し3,000円相当の自社製品を、3,000株以上ご所有の株主様に対し5,000円相当の自社製品を、それぞれ進呈させていただきます。



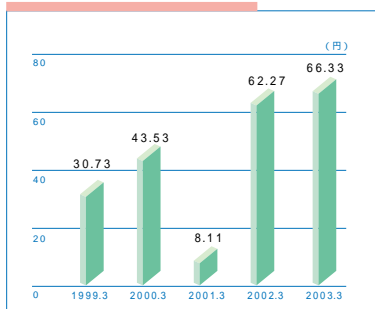
3,000円相当の昨年の製品例

主な投資指標

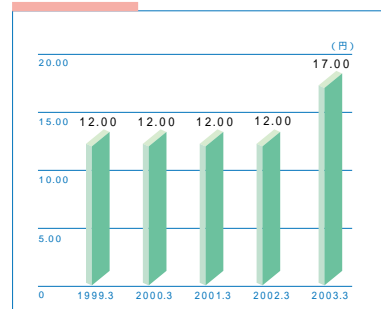
1株当たり株主資本(連結)



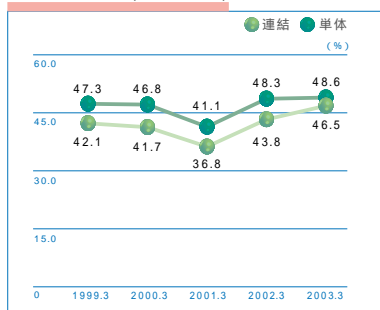
1株当たり当期純利益(連結)



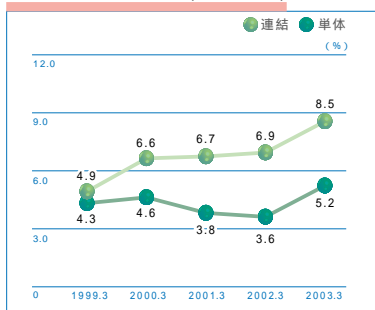
配当金(単体)



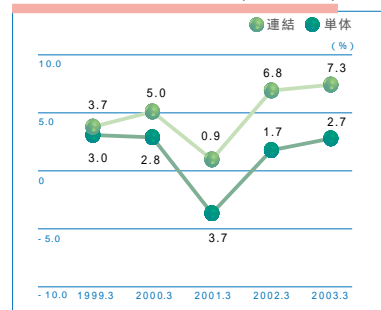
株主資本比率(連結/単体)



総資本経常利益率(連結/単体)



株主資本当期純利益率(連結/単体)





会社情報

会社概要 (2003年3月31日現在)

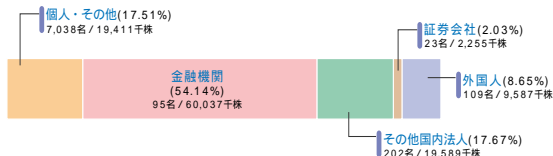
創 立 1953年3月25日
 本 社 〒108-8501
 東京都港区港南二丁目13番40号
 TEL.(03)3458-5111 (代表)
 資 本 金 189億6,952万円
 従 業 員 1,707人
 事 業 所 数 工場6、冷蔵庫14、
 支店・営業所25
 国内関係会社 36社(うち、連結子会社19社、
 非連結子会社16社、関連会社1社)
 海外関係会社 11社(うち、連結子会社4社、
 非連結子会社6社、関連会社1社)

株式の状況 (2003年3月31日現在)

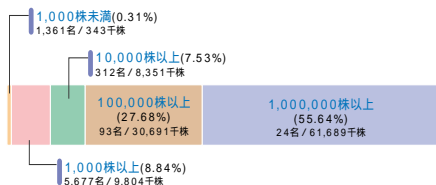
会社が発行する株式の総数.....427,000,000 株
 発行済み株式総数.....110,881,044 株
 株主数.....7,467 名

株式分布状況 (2003年3月31日現在)

所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



役員 (2003年6月27日現在)

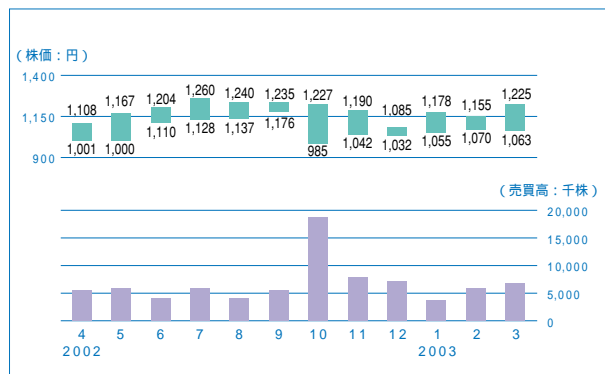
取締役会長	深川 清司	取締役	谷口 文夫
取締役社長	堤 殷	取締役	杉本 忠司
専務取締役	羽野 勝明	取締役	佐藤 勝英
専務取締役	水流 良一	取締役	友田 吉生
常務取締役	井上 安雄	取締役	山内 寛
常務取締役	小暮 賀孝	取締役	山下 透
常務取締役	織田 睦彦	取締役	兼重 信英
常務取締役	成滝 勝郎	取締役	三浪 博行
取締役	相楽 滋	常勤監査役	加藤 晴一
取締役	久保 恭司	常勤監査役	錦織 彰郎
取締役	目羅 甚一	常勤監査役	北村 勝久
取締役	皆 孝之	監査役	高良 明

大株主の状況 (2003年3月31日現在)

順位	株主名	持株数	議決権比率
1	日本トラスティサービス信託銀行株式会社 (信託口)	11,414千株	10.47%
2	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	7,083	6.49
3	田子製氷株式会社	6,021	5.52
4	マルちゃん持株会	3,487	3.20
5	株式会社三井住友銀行	2,674	2.45
6	あいおい損害保険株式会社	2,561	2.35
7	日本生命保険相互会社 (特別勘定年金口)	2,482	2.28

マルちゃん持株会は従業員持株会であります。

株価および売買高の推移 (東京証券取引所)



株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	3月31日
	その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (証券代行事務センター) 〒168-0063 中央三井信託銀行株式会社証券代行部 電話(03)3323-7111(代表)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社全国各支店 日本証券代行株式会社本店・全国各支店
手数料	名義書換 無料 新券交付 株券の再発行の場合は1枚につき250円 株券喪失登録申請 申請1件につき 8,600円 株券1枚につき 500円
1単元の株式の数	1,000株
上場証券取引所	東京、大阪、名古屋

お知らせ

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙ご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

東洋水産株式会社

ホームページ <http://www.maruchan.co.jp>

〒108-8501 東京都港区港南二丁目13番40号 TEL(03)3458-5111(代表)

